

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立敷津浦学園
施設所管課・担当	福祉局障がい者施策部障がい福祉課施設グループ（担当：井口・井上）
条例上の設置目的	児童福祉法（昭和22年法律第164号）第42条第 1 号に規定される福祉型障がい児入所施設として、障がいのある児童を入所させて、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与することを目的とする。
業務の概要	（１）福祉型障がい児入所施設の運営・管理 （２）利用児、者への個別支援計画に沿った日常生活支援 （３）短期入所事業、日中一時支援事業 （４）年齢超過者の地域移行 等
成果指標	利用者満足度／職員の資質向上に資する研修の実施
数値目標	80％以上／年 6 回以上
指定管理者名	社会福祉法人いわき学園
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日（5 年間）
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	職員の資質向上に資する研修の実施
数値目標	80％以上	年 6 回以上
年度実績	83.3%	7回
達成率	104.1%	○

利用状況

○ 障がい児入所施設

令和 6 年 3 月31日現在年齢別入所状況（※ 3 月に高等部を卒業し退所した利用者 4 名を含む。）（単位：名）

	0～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳	計
男	1	0	3	1	4	6	15
女	0	2	1	1	5	2	11
計	1	2	4	2	9	8	26

（障がいの程度別）

	A（重度）	B 1（中度）	B 2（軽度）	不明	計
男	3	5	6	1	15
女	1	3	7	0	11
計	4	8	13	1	26

（令和 5 年度入退所）

- ・ 入所 男 4 名 女 1 名 計 5 名
- ・ 退所 男 6 名 女 3 名

○ 短期入所事業（延べ利用件数）

- ・ 障がい児 367人
- ・ 障がい者 1,096人

○ 日中一時支援事業（延べ利用件数）

- ・ 障がい児 18人
- ・ 障がい者 416人

令和5年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

(単位：円)

収入		当年度	前年度	差異 (実績－計画)	主な要因
児童福祉事業収入	実績	188,210,047	177,421,023	8,817,047	定員変更に伴う措置費単価の増
	計画	179,393,000	173,749,000		
障がい福祉サービス等事業収入	実績	36,227,347	38,466,914	35,347	
	計画	36,192,000	39,417,000		
寄付その他	実績	4,682,681	5,135,130	656,681	
	計画	4,026,000	5,557,000		
合計	実績	229,120,075	221,023,067	9,509,075	
	計画	219,611,000	218,723,000		

支出		当年度	前年度	差異 (実績－計画)	主な要因
人件費	実績	150,975,704	172,074,988	△ 227,296	
	計画	151,203,000	171,865,000		
事業費	実績	25,597,871	29,024,817	△ 2,559,129	入所者数の減に伴う給食費等の減
	計画	28,157,000	30,657,000		
事務費	実績	34,293,715	35,188,315	△ 554,285	修繕費の増
	計画	34,848,000	32,519,000		
その他	実績	2,495,800	2,685,323	△ 254,200	
	計画	2,750,000	3,285,000		
合計	実績	213,363,090	238,973,443	△ 3,594,910	
	計画	216,958,000	238,326,000		

※支出について、本部拠出金、修繕費積立金等を除く。

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	104.1%	B	-
職員の資質向上に資する研修の実施	○	B	-

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
センサーライトの使用や照明器具・冷暖房器具等をこまめに切るなど、節電を徹底した。 消耗品については、無駄をなくして再利用する意識を高めた。	B	-

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	-
	事業計画の実施状況	B	-
	施設の有効利用	A	年齢超過者や18歳到達者の地域移行に伴い、他施設との連携に積極的に取組んだため左記の評価とする。
社会的責任・市の施策との整合性		B	-

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法

利用者ご家族に対してアンケート調査を実施

(2) 利用者ご家族22人（回答者6人）

回答率27.3%

(3) 質問項目

ア 基本的な事項（入所形態、利用期間）

イ 支援内容（学園での生活、支援内容、利用者サポート、個人情報保護等）

ウ その他

(4) 結果

・ 利用者ご家族へのアンケートで、職員の態度や雰囲気が良いと答えた方が83.3%。

・ 利用者の個々の状況に応じた専門的な支援や指導が行われていると答えた方が66.7%。

・ 利用者の個性や能力について、職員と共有できていると答えた方が83.3%で、職員に対する満足度は高い。
一方で、個別支援計画にかかる説明への満足度は66.7%となっている。こども相談センターのケースワーカーとも連携しながら、個々の状況に寄り添い、丁寧な対応が必要と考える。

・ 全体入所者のうち、ほとんどを措置入所が占める状態ではあるが、ご家族及び利用者の全体的な満足度は高いと考える。

6 外部専門家意見

・ コロナ・インフルエンザ等の感染症に関して、施設内でクラスターが発生しないよう引き続き感染防止に努めてもらいたい。

・ 年齢超過者の地域移行のために尽力し、全員が移行できたことは高く評価できる。

・ 今年度からは障がい児施設として、関係各所と連携し、入所者の地域移行に取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	特に、利用者の特性の変化に応じた研修のほか、障がい者差別解消における合理的配慮の提供に関する研修等の実施に取り組んだことは評価できる。
市費の縮減		B	照明器具・冷暖房器具をこまめに切るなど節電の徹底、消耗品の再利用など、経費の削減に努めた。
管理運営の履行状況	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B+	この間多くの年齢超過者が在籍していたが、他の関係機関との連携を行い、地域移行に取り組んだ結果、全員が移行できたことは高く評価できる。
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	-